

ODIPv3.2.8 修正パッチ (P20171102) リリースノート

2017/11/02

(株) インテリジェント・モデル

この文書は、ODIP™ Enterprise Solution v3.2.8 に対する修正パッチ (P20171102)、Build-id:1030208201711020 に関する修正を記述したものです。

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容.....	4
1. ODIP リポジトリサーバにおける NULL 例外発生への対応	4
B. 適用対象.....	6
1. パッチファイルの内容.....	6
2. ODIP リポジトリサーバへのパッチの適用	6

A. 変更内容

1. ODIP リポジトリサーバにおける NULL 例外発生への対応

データ内に不正な NULL の設定が行われた定義をリポジトリにコミットする際に、ODIP リポジトリサーバで、NULL 例外が発生すると、メモリ上のデータの一部に破損が生じ、その後のコミットでメモリ上のデータがファイルに保存されて、リポジトリのデータが破損する事態が発生しました。本来、リポジトリサーバは、NULL 例外などの予期しない例外を検出した場合、メモリ上のデータを破棄して、ファイルのデータを再ロードすることで、定義の破損を防ぐ仕様となっていました。例外の発生するタイミングによって、再ロードが機能しない場合があります。

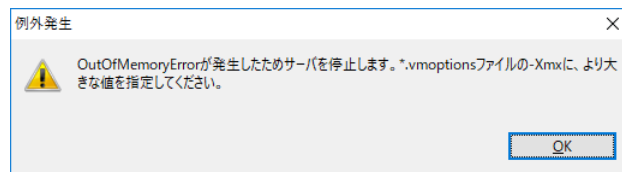
- ① リポジトリデータの更新に関わる処理中に予期しない例外^{*1}が発生した場合は、必ずメモリ上のデータを破棄してデータの再ロードが行われるように修正が行われました。

※1 予期しない例外

予期しない例外には、メモリ不足によるものと、それ以外の例外があり、各々ログの出力及び対処が異なります。

- ・メモリ不足例外 (OutOfMemoryError)

ODIP リポジトリサーバは、定義データをメモリに格納しているため、定義データのサイズが最大ヒープメモリサイズの設定値を超えると、OutOfMemoryError が発生します。このとき、リポジトリへの操作を行っている端末には、次のダイアログメッセージが表示されます。



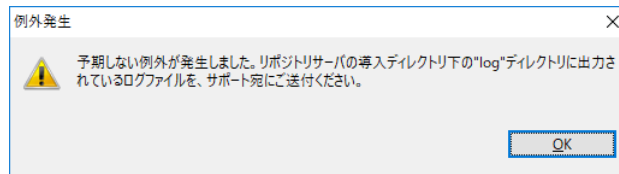
OutOfMemoryError を検出すると、ODIP リポジトリサーバは、次のメッセージをログに出力してシャットダウンします。物理的なメモリに余裕があれば、-Xmx の設定値を増やして ODIP リポジトリサーバを起動することで運用を継続することができます。

(ログのメッセージ)

「OutOfMemoryError が発生したためサーバを停止します。*.vmoptions ファイルの-Xmx に、より大きな値を指定してください。」

- ・メモリ不足以外の例外

ODIP リポジトリサーバで、メモリ不足以外の例外が発生すると、リポジトリへの操作を行っている端末には、次のダイアログメッセージが表示されます。



ODIP リポジトリサーバは、次のメッセージをログに出力して、定義データの再ロードを行います。再ロードによって、コミットなどの最後の更新の操作は取り消されます。同じ操作を繰り返すと、高い確率で同じ例外が発生します。この場合は、ODIP リポジトリサーバのログファイルを弊社サポートにご送付ください。弊社にて原因を特定の上、対応方法をご連絡いたします。

「予期しない例外が発生しました。リポジトリサーバの導入ディレクトリ下の“log”ディレクトリに出力されているログファイルを、サポート宛にご送付ください。

：

予期しない例外が発生しました。データの再ロードを行います。」

B. 適用対象

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP リポジトリサーバ v3.2.8

1. パッチファイルの内容

本パッチには、次のフォルダとファイルが含まれています。

フォルダ			ファイル名
ODIP328_P20171102	lib	RPS	odprs.jar

2. ODIP リポジトリサーバへのパッチの適用

- (1) ODIP リポジトリサーバを実行中の場合は終了してください。
- (2) フォルダ lib/RPS 内の全ファイルを、ODIP リポジトリサーバのインストールディレクトリ（デフォルトでは、“C:\Program Files\ODIP\Repository Server” になります）直下にある “lib” フォルダに上書きコピーしてください。
- (3) ODIP リポジトリサーバを起動してください。
- (4) ODIP リポジトリマネージャを起動し、ツールメニューの “ORMS サーバ情報” を選択してください。次のビルド ID が表示されることをご確認ください。

名称	ビルド ID
Repository server	1030208201711020
Common	1030208201707060
Common model	1030208201611220
Common user interface	1030208201611220
Repository interface	1030208201611220
Deprecated models	1030208201606300

以 上